

コンサルテーション事業報告

事業の名称	木曜会	事業代表者	工藤 与志文
対象	学校教員、他大学の教員、教育実践研究に携わる大学院生		
目的	主として小学校算数・理科、中学校理科の教材研究、授業検討をとおして、学校における授業の現状と課題を分析するとともに、効果的な授業プログラム・教材を開発し、その成果とノウハウを現場の教員、教職科目担当教員、本研究科教員および大学院生とで共有することにより、地域教育現場における授業の質的向上と大学院学生の研究能力向上をめざす。		
実施日	原則として、休業期間中を除く毎週木曜日	実施回数	
		週1回、4回程度/月	
実施場所	文系総合研究棟 701 室		
主なスタッフ	荒井龍弥(仙台大)、小石川秀一(極地方式研究会)、工藤与志文(本研究科)、佐藤誠子(本研究科)、小野耕一(宮城野区中央市民センター)、河野大空見(仙台白百合小学校)、蛭名正司(会津大学)、渡邊大輔(東京都市大学)	人数	
		8人	
スタッフの活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 授業実践の報告とその検討: 小中学校, 学習支援教室等の現場で実施された授業の記録, 学習者の感想, 評価課題の結果などについての報告を受け, その検討をおこない, 問題点を整理した。 2) 授業プランの検討: 小中学校等の教員から, 実施予定の授業について相談を受け, 使用予定の教材・資料, 実験方法, 発問, 予想される子どもの反応等について検討をおこない, 改善案を提起した。 3) 授業プラン・教材の開発: スタッフが構想した授業プランや教材案について, 全員による検討をおこなった。 		

<p>2022年度 活動実績</p>	<p>第1回 4月14日 今年度の活動内容について</p> <p>第2回 4月28日 小石川先生の8mm授業映像を見る</p> <p>第3回 5月12日 「フックの法則」の授業報告と検討</p> <p>第4回 5月19日 「物の燃え方と空気(小6理科)」の授業報告と検討①</p> <p>第5回 5月26日 「物の燃え方と空気(小6理科)」の授業報告と検討②</p> <p>第6回 6月9日 「物の体積」における教授法の到達点と課題を探る(1) －科教協東京化サにおける教育内容－</p> <p>第7回 6月16日 「物の燃え方と空気(小6理科)」の授業報告と検討③</p> <p>第8回 6月23日 「物の燃え方と空気(小6理科)」の授業報告と検討④</p> <p>第9回 6月30日 「物の燃え方と空気(小6理科)」の授業報告と検討⑤</p> <p>第10回 7月14日 河野実践「物の燃え方と空気」に関するコメント 「太陽と月のかたち」教科書検討</p> <p>第11回 7月28日 「太陽と月のかたち」プラン検討 プラネタリウムのソフトの紹介</p> <p>第12回 9月8日 「太陽と月のかたち」プラン検討①</p> <p>第13回 9月15日 「太陽と月のかたち」プラン検討②</p> <p>第14回 9月22日 「割合(小6算数)」の授業報告と検討</p> <p>第15回 9月29日 「物の体積」における教授法の到達点と課題を探る(2) －「物の体積」『理科これだけはおさえない中学年Ⅱ』－</p>
------------------------	---

第 16 回 10 月 6 日 「太陽と月のかたち」プラン検討③
第 17 回 10 月 13 日 「太陽と月のかたち」プラン検討④
第 18 回 10 月 20 日 「太陽と月のかたち(小 6 理科)」実践報告と検討①
第 19 回 10 月 27 日 「太陽と月のかたち(小 6 理科)」実践報告と検討②
第 20 回 11 月 10 日 「太陽と月のかたち(小 6 理科)」実践報告と検討③
第 21 回 11 月 17 日 「太陽と月のかたち(小 6 理科)」実践報告と検討④
第 22 回 11 月 24 日 「太陽と月のかたち(小 6 理科)」実践報告と検討⑤
第 23 回 12 月 8 日 「太陽と月のかたち(小 6 理科)」実践報告と検討⑥
第 24 回 12 月 22 日 「太陽と月のかたち(小 6 理科)」実践報告と検討⑦
第 25 回 1 月 19 日 「太陽と月のかたち(小 6 理科)」実践報告と検討⑧
第 26 回 2 月 2 日 「太陽と月のかたち(小 6 理科)」実践報告と検討⑨